



小学生・中学生の皆さんへ

2018年[平成30年]

発行：荒川区  
発行部数：23,000部  
〒116-8501  
荒川区荒川2-2-3  
☎(3802)3111

# あらかわ区報 Jr

9.26  
No.119

ARAKAWA KUHO JUNIOR

ジュニア

あらかわ区報 Jr.は  
荒川区ホームページで  
ご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



到来!

スポーツの

秋!

スポーツの秋がやってきた! 今回は、第六瑞光小学校に通う4・5・6年生の総勢23人が、子どもから大人まで楽しめるカナダ発祥のニュースポーツの「キンボールスポーツ」(キンボール)を体験しました。みんな、キンボールをマスターできたかな?



## あらかわは **今**、 キンボールが **熱い!!!**



荒川区では2004年からキンボールの普及活動が行われているんだ。荒川区は都内でも特にキンボールが盛んで、競技レベルの高い地域のひとつなんだよ。でも、「まだ、キンボールのこと…よく分からない」というみんな～! 今回はキンボールについて解説するから、じっくり読んで覚えてね。

問い合わせ スポーツ振興課 ☎内線3373

次は11月に発行する予定です

# OMNIKIN みんなで、オムニキン!

## 直径122cmのボールをヒット! コートに落とさないようにレシーブ!

今回参加した第六瑞光小学校の児童のほとんどがキンボール初挑戦ということで、「荒川区キンボールスポーツ連盟」の指導員のみなさんが登場。キンボールのルールから試合を楽しむポイントまで、分かりやすく教えてくれました。さあ、みんなで、オムニキン!

### 「キンボール」のあんなこと、こんなこと

キンボール(「キン」は英語の「kinesthesia」の略で「運動感覚」の意味)は、1986年にカナダの体育教師が考案したスポーツです。最大20m×20m四方のコートサイズ内で、直径122cm、約1kgのボールを床に落とさないように、ヒットとレシーブを繰り返しながら得点を競います。チームは4人1組で、ピンク(※)、グレー、ブラックに色分けされた3チームで戦います。2001年から約2年に1度、国際大会が行われていて、2017年の第9回大会は日本で開催されました。2015年の第8回スペイン大会では、日本男子チームが金メダルを獲得しています。※国際大会ではピンクの代わりにブルーを使用する場合があります。

キンボールは子どもも大人も一緒に楽しめるスポーツなんだね



▲ゲームのルールや注意点をみんなで確認。チーム分けもして、準備万端。キンボールで使う大きいボールは、プロフ(空気入れ)で膨らませます



2年に1度、ワールドカップも開催されてるんだって!

▲今回は公式大会でも使用されるキンボールを使いました。ボールの大きさにびっくり!

### 知ってる? キンボールと荒川区のこと

荒川区キンボールスポーツ連盟会長の小山博さんが、荒川区体育指導委員会(現スポーツ推進委員会)の会長を務めていたとき、「今までにない新しいスポーツを楽しんでほしい」と、キンボールの普及活動を始めました。毎年開催される「あらかわ杯キンボールスポーツ大会」には、全国から120チームが参加します。また、夜間に区立の小・中学校の体育施設を開放する「スポーツひろば」でもキンボールを指導。ここでは、小学1年生から誰でも参加できます。「スポーツひろば」に関しては荒川区ホームページをご覧ください。

今回、キンボールに挑戦したのは、第六瑞光小学校のみんなだよ!

▲キンボールに挑戦した第六瑞光小学校4・5・6年生のみんなと、「荒川区キンボールスポーツ連盟」の指導員のみなさんと記念写真(写真左から会長の小山博さん、指導員の三ツ山純子さん、大森知子さん、新津光人さん、大熊裕子さん)

キンボールをぜひ体験してみてください

荒川区キンボールスポーツ連盟 会長 小山博さん

キンボールに最も大切なのはチームワークです。自分だけが楽しむのではなく、チーム全員が楽しめるようお互いが支え合い、協力します。プレーしてみるとキンボールの楽しさはすぐに実感できると思います。ぜひ一緒にプレーしましょう。

### 練習開始

準備運動のあとは、いよいよ大きなキンボールのボールを使って練習です。ボールをヒットする前に、必ず「オムニキン!」というかけ声と、攻撃するチームの色を大きな声でコールします。指定されたチームはボールを床に落とさないようにレシーブ。ボールを落としたり、ほかの2チームに得点が入ります。



▲ヒットの時は、ヒッター以外のメンバーがボールを支えます

▶ボールを弾かずに、両側からしっかり挟むのが落とさないコツ。ボールを両腕で抱え込んだり、カバーの口の部分をつかむのは反則です

ヒット!



レシーブ!

▲指導員の新津さんの話を熱心に聞きます。試合の前に、みんな真剣な表情

「オムニキン」は「みんなで楽しむ」という意味だよ



### さあ、試合だ!

今回のキンボールの試合は1ピリオド7分で行いました。6年生が中心となり、声をかけ合いながらゲームを進めます。相手チームの守りがいない場所を狙ってヒットするなど、各チーム工夫をこらした戦術でゲームを楽しみました。



▲両手のひらを使ってヒット! 少しずつコツがつかめてきました

▶次の試合に向けて作戦会議をするチームも。試合に勝つにはチームワークが大切

### 勝利へのワンポイントアドバイス



荒川区キンボールスポーツ連盟指導員 三ツ山純子さん

ボールを持ち上げる時は「せーの」と息を合わせるなど、常にチームのメンバーと声をかけあって行動するのが勝利への近道です。

初めてでも楽しめました。またやりたい!

▶どんどん得点が入るようになり、試合が白熱! どのチームが勝つかな?



▲ほかのチームの試合を応援中。「もっと広がって守って!」と上級生が声をかけます。みんな頑張れ!



▲得点が高いチームに攻撃。負けているチームへの攻撃は反則になってしまうよ

キンボールが目指したい! 始めたい! そんな君はまずここに連絡だ!

荒川区キンボールスポーツ連盟 (小山会長) 空(3819)2247 E-Mail/kym-hiroshi@mqc.biglobe.ne.jp



Topics

ドノウシュタット区へ5人の  
高校生が派遣されました

7月26日、「ウィーン市ドノウシュタット区高校生派遣出発式」が行われました。

両区の交流は、平成4年にお互いに開催した児童絵画展から始まり、平成8年、友好都市になった際、ドノウシュタット区から高校生の派遣を受け入れたことをきっかけに、毎年、相互に高校生を派遣しています。

7月28日からの11日間、高校生達は、区長の表敬訪問や、荒川の地名のついた通りなどの見学を行いました。また、ホームステイを通じて現地の人たちと深い絆を育むなど、荒川区の親善大使として充実した毎日をご過ごしました。



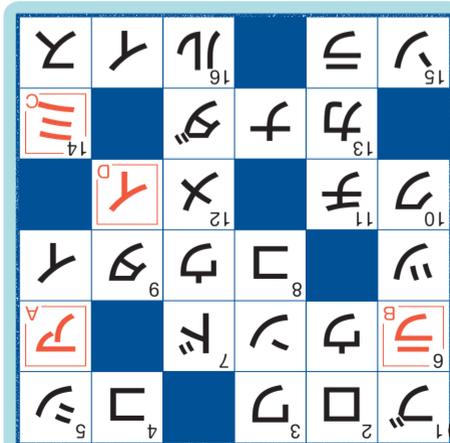
▲左から、谷口稜真君、小林ひかりさん、西川区長、桑田有海子さん、丸山桃子さん、木村悠太郎君



▲荒川区との交流を記念して桜が植樹された公園で、元区長のレオポルド・ヴェーデル氏とともに

挑戦しよう! クロスワードパズル

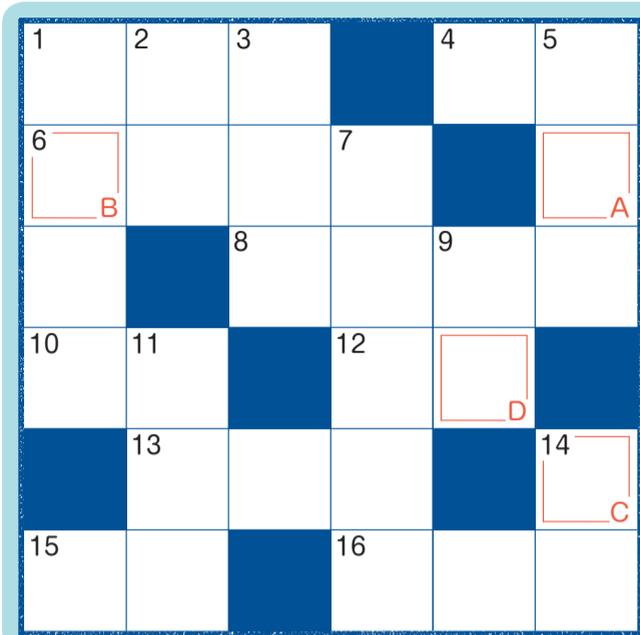
答え合わせ



キーワード A ア B ラ C ミ D イ

挑戦しよう! クロスワードパズル

と解けるかな?



タテのかぎ、ヨコのかぎの設問に答えてね。  
□の中の4つの文字を組み合わせると、みんなが知っているキャラクターの名前が出てくるよ。頑張って解いてみてね。

キーワードは?



ヒント

あら坊の妹。  
10月3日が誕生日だよ。



タテのかぎ

- ①キンボールで競う3つのチームの色はピンク、グレー、あと一つは?
- ②ほねおり、勤め。〇〇をねぎらう
- ③猫はニャンコ、犬は〇〇〇
- ④審判のホイッスルで〇〇〇〇開始
- ⑤一位は金メダル、三位は?
- ⑥同点のこと。〇〇・ブレイク
- ⑦キンボールは4人で〇〇〇を合わせて戦う
- ⑧失敗。キンボールでは、コンタクト〇〇、コール〇〇などをすると他2チームに得点が入る

ヨコのかぎ

- ①キンボールのボールは〇〇〇〇を使って膨らます
- ④キンボールをヒットする時は〇〇より上のみを使用。レシーブする時は体のどこを使っても良い
- ⑥野球はインング、キンボールはピリオド、ボクシングは?
- ⑧キンボールの選手〇〇〇〇〇は、試合中何回しても構わない
- ⑩キンボールのナイロンカバーの〇〇の部分に挿むのは反則
- ⑫「となりのトトロ」の姉妹はサツキと〇〇
- ⑬アメリカの隣りに。キンボールはここで生まれた
- ⑮頭上に広がる青いもの
- ⑯「不思議の国のアリス」の作者は〇〇〇・キャロル

あらかわ 今昔ものがたり [あらかわの歴史と伝説]

その119 幻の綱引 ~千住大橋の綱引~

秋といえば、読書の秋、芸術の秋、そしてスポーツの秋。2020年、東京オリンピック・パラリンピックが近づいてきてスポーツが注目されているね。野球・サッカー等人気のスポーツも良いけど、一日かけてみんなでスポーツに親しむ運動会もとても楽しいよね。各学校の代出表が出る秋の「荒川区立小学校連合地区運動会」は毎年すごく盛り上がる。特に全員で力を合わせて対戦する綱引は、応援にも力が入るよね。

日本の綱引事情

運動会の名物競技・綱引は、世界選手権もあるくらいメジャーなスポーツ。1908年のオリンピック・ロンドン大会で、番外種目として行われたんだ。日本でも、そうとう昔から各地で綱引が行われてきた。でも、体を鍛えたり、競うためのスポーツではなかったんだよ。じゃあ、何のために綱引をすると思う? 実はね、日本の綱引は、その年の善し悪しを占い、豊作

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



や豊漁をお願いするための行事だったんだ。正月15日、または14日~16日の小正月や、おぼん、十五夜に行われることが多く、まだ日本各地で行われているそうだよ。

あらかわの綱引事情

江戸時代、あらかわでも綱引が行われていた。その会場を聞いてビックリ。なんと千住大橋の上。文禄3年(1594)、橋が架けられた年から始まったと伝える行事だよ。「千住大橋綱引」と呼ばれ、千住の天王祭(今の素盞雄神社の天王祭)の最終日の6月9日の夜、千住大橋を挟んで北(足立区側)と南(荒川区側)の若者が、藁で作った大綱を引き合ったんだ。喧嘩が絶えないという理由で、話しあって止めてしまったそうだよ。残念! 無くなってしまった行事なのに「東都歳事記」等の江戸時代の本に何度も紹介されたんだ。都会の江戸の人びとにとって、綱引は珍しい幻の行事だったんだね。身近なスポーツの綱引にも、言い伝えや歴史があるんだね。今年度、荒川ふるさと文化館で調べてみよう。



「東都歳事記」 (荒川ふるさと文化館蔵)